



私は、このたび、合併後の新「光市」の市長選挙において、無投票当選により、初代市長に就任させていただきました。こうした栄に輝かせていただきましたことは、誠に感慨深いことであると同時に、新市の出発にあたっては、争いよりも和、そして心を一つにして、真に立派なまちづくりを望まれている市民の皆様からのメッセージを託されたものと認識しており、その職責の重大さに身の引き締まる思いです。

市長に就任以来10年間、一貫して「公平・公正」、「改革・刷新」を基本理念として、議会や市民の皆様のご支援をいただきながら、諸課題の解決に全力で取り組んできました。しかし、今日の地方自治体を取り巻く環境は、地方分権の進展や財政状況の悪化など、大変厳しい状況に直面しています。

経て、歴史的・文化的に繋がりの深い大和町との合併を選択しました。こうした今回の合併は、全国の範となるようなものであったと自負しているところです。しかし、合併はあくまでまちづくりの手法の一つです。これから、私たちが取り組んでいく新たなまちづくりこそが、全国の範とならなければなりません。

新たなまちづくりのキーワード 改革・再生・創造

ます。

合併協議会の会長を務めた私に課せられた最大の使命は、合併協議会において策定され、市民の皆様様の熱意の集大成である新市建設計画の具現化、すなわち本計画の将来像に掲げた『光る個性 地域の和 人と自然にやさしい生活創造都市』の実現に向けたまちづくりを着実に実行していくことです。特に、「生活創造都市」はこれからの重要なポイントであり、ビルが林立する都市ではなく、この故郷の大地に目を向け、素晴ら

しい「海・山・川」に抱かれた生活空間の中で、人々が幸せに暮らしていきけるようなまちの実現を目指していきたいと考えています。

しかし、その一方で、少子高齢化やグローバル化の進行、高度情報化の進展など社会が大きく変化する中、計画の具現化を図るためには、地方都市の新たな経営手法の確立が重要となります。

引続き、市民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆様が心から幸せを実感できる『心和む故郷づくり』にまい進することを約束申し上げます。新「光市」の初代市長就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

市長選挙結果

合併に伴う新光市の市長選挙は、11月7日に告示され、立候補の受け付けが午後5時で締め切られました。
立候補者は、旧光市の市長であった末岡泰義氏以外に届出者がいないため、公職選挙法第100条の規定に基づき無投票当選となり、11月15日に当選証書が手渡されました。

秋の叙勲と褒章に市内から3名の方が受章されました。おめでとうございます。

秋の叙勲



瑞宝双光章

元大和町消防団長
河井 勉さん

東荷

【受章の声】

多くの団員や同僚、後輩たちに支え、助けられ、役目を務めることができました。身に余る光栄で、感激の一言です。

現在、交通安全協会会長や農事組合法人東荷の副組合長などの活動をしています。今回の受賞を市民の皆さんに何らかの形で恩返しできればと思っています。



瑞宝双光章

社会福祉法人
鼓ヶ浦整肢学園総看護師長
守田セツヨさん

光井一丁目

【受章の声】

栄誉ある勲章をいただき、重い責任を感じています。今回の受章は、決して私一人の力ではなく、皆さんに支えてもらったおかげです。そして、鼓ヶ浦整肢学園の代表として受章したと思っています。今後、さらに努力を重ねて、鼓ヶ浦整肢学園が地域の方々にもっと信頼されるような施設にしていきたいと思ひます。

秋の褒章



緑綬褒章

環境美化奉仕者
杉山八重子さん

浅江七丁目

【受章の声】

私の活動を支えているのは、たくさんの人との出会いです。中学生の男の子が「ご苦労様です。」と声をかけてくれたことがあります。その言葉はうれしくて、今でも忘れません。海は私の大好きな癒しの場です。元気な間は、きれいな海を保つため、虹ヶ浜海岸のごみ拾いを続けていきたいと思っています。